

— from KORIYAMA to the WORLD —

# 郡山から世界へ

[Vol. 6 竹山 優子さん]



昨年4月に開所した福島再生可能エネルギー研究所。再生可能エネルギーの大量普及に向けた研究が進められています。昨年10月に同所に配属となり、洋上風力発電の研究に取り組む竹山優子さんにお話を伺いました。

### 「洋上風力発電」とは？

海上で行う風力発電のこと。1991年にデンマークに設置され、イギリスやドイツを始めとするヨーロッパを中心に建設が進んでいる。陸上のものと比較して、騒音などの問題が起きにくく、また、安定的に強い風が得られることから、今後世界的に普及が進むと見られている。



デンマークの洋上風力発電所

他国では既に、特定の海域でどのように風が吹くのか、人工衛星のデータなどから推定する手法が開発されていますが、日本のような特殊な気象状況では応用することができません。

また、私たちはこうした研究を、日大工学部の学生と共同で進めています。産総研の研究をとおして、国際的に活躍する学生が一人でも多く輩出できれば、うれしいですね。

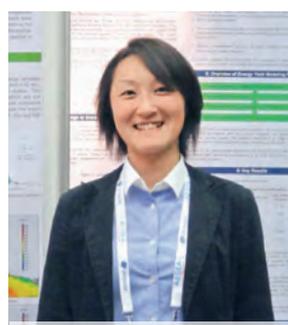
ヨーロッパでは年々普及が進んでいる発電方法ですが、実は日本ではほとんど行われていません。地形が山がちで大気が不安定なので、海上の風が推定しにくいのです。

現在の日本は、ヨーロッパで既に開発された技術を追いかけている状況ですが、日本にしかできない研究があると思っています。いずれは日本の特殊な環境を生かして、他国の研究者にはできない技術を開発し、世界に貢献したいと思っています。

### 日本にこそできる研究を

東日本大震災以降、再生可能エネルギーに大きな期待が寄せられています。その中でも、今後大きく普及が見込まれているのが「洋上風力発電」です。昨年11月にいわき沖で実証実験が開始されたので、ご存知の方も多いかもしれませんが、

高精度な推定ができるように、既存の手法を発展させた技術の開発に取り組んでいます。研究が進めば、日本でも洋上風力発電の普及が進むのではないのでしょうか。



竹山 優子さん

兵庫県出身の34歳。神戸大学で自然科学を研究し、2008年に産業技術総合研究所へ入所。昨年10月からは福島再生可能エネルギー研究所の風力エネルギーチームに所属し、洋上風力発電に必要な高精度風況把握の研究に取り組んでいる。

きません。そこで私たちは、日本でも

## こどもギャラリー



安積第三小学校5年 目黒 心さん



郡山第六中学校1年 宗像 璃空さん

### 雨のにおい

わたしは雨がきらいだ  
でも、お母さんは雨が好きだと言う  
わたしはどうしてと聞いてみた  
お母さんは、  
雨は空のにおいがするからと答えた  
空のにおってどんななんだろう  
わたしは次の雨の日に  
空のにおいをかいでみようと思った  
そしたら雨も  
好きになれるかもしれない



平成26年度「ほくらのひろば」から

### スプーンに映った私

スプーンに映っている自分を描くという授業で、この絵を描きました。  
目や鼻の大きさにメリハリをつけたり、背景に曲線をつけるなどの工夫をして、魚眼レンズで撮影したような歪みを表現しています。  
絵を描くことも好きですが、機械工学にも興味があります。将来は介護ロボットなどの開発に携わり、人の役に立てる研究をしたいです。



平成26年度 郡山市子ども総合美術展「市長賞」

